

第26回 日本語体験コンテストin北海道 - U 1 8 日本語体験記者 -

日時： 2023年7月30日（日）

会場： 大韓民国ソウル市ロッテホテル2F

主催： 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

後援： 文部科学省在大韓民国、日本国大使館全日本空輸株式会社 ソウル支店

協賛： 株式会社 共立メンテナンス

第26回「日本語体験コンテストin北海道」は、大韓民国の高校生を対象に、日本の北海道の教育機関（大学・専門学校・日本語学校2校以上）と文化施設、自然名所を訪れ、日本語を使用して取材する企画を募集し、最終入賞者は、取材費用として支給された20万円を使って、企画した内容を体験取材し、SNSを通じて発信するコンテストを実施しました。



ユン イウオン ナム ソン ジュニョン イ ソヨン ムンソルヒヤン
後列左より、入賞者 尹 譽源 / 南 ガウル / 宋 峻暎 / 李 昭潤 / 文 高香

ユン ミョンド ソル ユジン ハン ヒジュ ウム イェジン イ ナヒョン
尹 銘濤 / 薛 有眞 / 韓 熙珠 / 陰 叡稔 / 李 娜唵

前列左より、菊川 長徳 理事長 / 黒田 勝弘氏 / 李 康民氏 / 玉邑哲也氏

(実行委員長/審査委員) (審査委員長) (審査委員) (北海道新聞ソウル支局長)

<最終入賞者>

入賞賞金(取材費用) 20万円

氏名	所属学校
尹 銘濤	忠南外国語高等学校
薛 有眞	ソウル外国語高等学校
李 娜炫	誠庵国際貿易高等学校
南 ガウル	鶴翼女子高等学校
宋 峻暎	忠南外国語高等学校
韓 熙珠	韓国観光高等学校校
文 高香	金海三文高等学校
陰 叡稹	安養外国語高等学校
李 昭潤	祥明大学附属女子高等学校
尹 譽源	韓国観光高等学校

<北海道新聞に掲載されました！>

道内への関心 日本語で
ソウル 高校生の発表コンテスト

【ソウル玉邑哲也】日本語を学ぶ韓国の高校生を対象にした「日本語体験コンテスト in 北海道」の選考会が30日、ソウルで開かれた。高校生が日本語を使って道内の文化などを取材体験する企画を発表した。アジアの留学生を支援する共立国際交流奨学財団（東京）の主催。韓国でのコンテストは1999年から開き、入賞者を日本に招待している。今回は訪問先

を北海道に限定。1週間の日程で道内の大学や専門学校など教育機関のほか、観光所などで取材体験し、交流サイト(SNS)などで発信する企画を募集した。28人が応募し、日本語に関心を持った動機や将来の夢、「酪農や畜産について調べたい」「アイヌ民族の歴史を学びたい」「地方の人口減少問題を考えたい」などと発表。10人が入賞した。ソウル近郊の韓国観光

「日本語体験コンテスト in 北海道」で入賞し、賞状を受け取る高校生（玉邑哲也撮影）



高校2年 尹譽源さん 16

は「北海道のおいしい食べ物や観光の魅力について取材したい」と話した。入賞者は財団が旅費を支援し、来年3月までに道内を訪れる予定。